



かがやき

西橋北小学校
学校だより

No.11

平成 24 年 6 月 15 日

少人数授業の取組について

(文責:後藤 達人)

西橋北小学校では、学校づくりビジョンの重点目標「確かな学力の保障」を達成するための具体的方策の一つとして、「個の的確なとらえときめ細かな指導」を掲げています。一人ひとりの学習状況や課題に応じ、その学習形態を工夫し、基礎的な知識や技能の習得をめざしています。

今年度は、昨年度の反省を生かし、より効果的な指導方法の工夫を続けています。その授業形態とは、TT(ティームティーチング:複数の教員が一つの教室で同時に指導を行う形式)、**少人数編成**(学級を2つに分け、それぞれを別の教員が指導する形式)、**取り出し授業**(さまざまな条件により、習得の効果をねらい、一斉の場から離して別の教員が指導する形式)の3種類を内容や状況により行っています。教科は、主に算数ですが、2年生だけは、児童数の関係で実施していません。



本年度は、橋北中学校区で共通に「授業改善」に向けた研究を各学校で行うことにしています。子どもの学力向上に向け、西橋北小学校でも、指導方法の工夫を重ね、検証を加えながら確かな学力の定着を図りたいと思っています。

常にいつもどおりというのは、よいところもありますが、大きな変化には対応できない部分があります。子ども一人ひとりのニーズや課題に応じた指導体制を確立していくことが、今の教育には必要とされています。今後も、さまざまな角度から子どもの学力向上を追及していきたいと考えています。

授業改善に向けた取組への保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

あいさつ運動が始まりました

6月8日(金)から、本年度のあいさつ運動が開始となりました。登校班単位で、西門と東門に分かれ元気よくあいさつをします。時間に都合のつく保護者の方も来ていただき、一緒にあいさつ運動に加わってもらいます。親子で通学路を歩きながら、班の様子や安全の状況等を確認することもできる取組です。何よりもあいさつは「地域の共通目標」ですから、みんなで元気な声を響かせましょう。



東西交流も開始されました

6月から各学年で東西交流を実施します。今年度は、昨年度の反省から、内容をより充実させるように計画し実行しています。

今年のトップバッターは1年生です。第1回目は、6月7日(木)に西橋北小学校で行いました。

みんなで手作りのけん玉を使って、ホールで楽しく、そして仲良く交流しました。

8日(金)には、2年生と5年生が、東橋北小学校へ出向き、交流学习を行いました。15日(金)には、4年生が東橋北小学校で行う予定です。橋北地区の子どもとして、互いに仲良く、協力し合って活動が進められることを願っています。



6年生の社会見学の様子から

6月12日(火)は、6年生が奈良方面に社会見学に出かけました。東橋北小学校の6年生と一緒に、元気よく出発しました。当日のコースは、法隆寺～ナガレ山古墳～東大寺～奈良公園という順路です。

出かけるときは、曇り空でしたが、法隆寺につく頃には、小雨がパラパラと落ちてきました。しかし、たいした雨量ではないので、見学するには支障ありませんでした。おかげで、混雑もなく、のびのびと法隆寺を見学することができました。

ナガレ山古墳でも小雨が降っていましたが、古墳の上に登る際も、困難はありませんでした。復元された大きな前方後円墳に、子どもたちは圧倒されていました。楽しみの弁当は、屋根のある場所で、おいしくいただきました。



午後は、東大寺と奈良公園です。まずは、東大寺大仏殿。木造建築でありながら、とても大きく大きい建物です。その大きさに子どもたちもびっくりです。そして、大仏殿の中に入ってみると、さらにびっくりします。巨大な大仏様が目の前に現れたからです。みんなは、ゆっくりと時間をかけて、見学したり柱の穴をくぐったりしました。その後は、広い奈良公園内を歩きながら散策しました。鹿の多さにもびっくりでした。

早朝から夕方までの長い時間を、東西橋北小学校の6年生が、交流を深めることができ、とても有意義な社会見学となりました。

